

2023年度「アルミニウム圧延品」需要見通し

一般社団法人 日本アルミニウム協会

(単位: トン)

	2021年度		2022年度		2023年度	
	実績		見込み		見通し	
	トン	前年度比(%)	トン	前年度比(%)	トン	前年度比(%)
板類	1,175,053	+10.7	1,100,923	▲ 6.3	1,134,100	+3.0
押出類	722,413	+7.3	679,908	▲ 5.9	681,400	+0.2
板押計	1,897,466	+9.4	1,780,831	▲ 6.1	1,815,500	+1.9
箔	125,435	+3.4	109,310	▲12.9	110,550	+1.1

① 概況

●2022年度需要見込み

板押合計で、1,781千トン、前年度比▲6.1%。(マイナスに反転)

うち、板類は、1,101千トン、前年度比▲6.3%。(マイナスに反転)

「缶材」は行動制限がなくなり外出機会が増加したことから、清涼飲料向けのボトル缶は伸びたが、一方で家飲み需要が減少した。「自動車」は半導体不足及び部品調達難により自動車生産台数の減少が続きマイナス。「金属製品」は箔地が大幅減少したが、印刷版向けは経済活動の正常化に伴う印刷需要増の他、円安による国内材回帰があり大幅に増加。

うち、押出類は、680千トン、前年度比▲5.9%。(マイナスに反転)

「建設」は住宅着工戸数の減少や素材転換などによりマイナス。「自動車」は板同様生産台数の減少によりマイナスを見込む。

箔は、109千トン、前年度▲12.9%。(3年ぶりにマイナス)

「食料品」は、飲料用は増加したが、他の食品向けは物価高騰による消費抑制や他素材への移行などがあり減少。「電気機器」は自動車生産台数の減少やコロナ特需の終了により、コンデンサ、リチウムイオン電池向けともに大幅減少となった。

●2023年度見通し

板押合計で、1,816千トン、前年度比+1.9%。(プラスに反転)

うち、板類は、1,134千トン、前年度比+3.0%。(プラスに反転)

「缶材」は前年と同じ傾向が継続しほぼ横ばい。「自動車」は生産台数が徐々に回復、EV化に伴う軽量化ニーズからパネル材は大幅増を見通す。

うち、押出類は、681千トン、前年度比+0.2%。(プラスに反転)

輸送分野は二輪関連がコロナ需要終息により減少、自動車向けはトラックを中心に、生産台数の回復を見通す。「建設」は住宅着工戸数が減少、一戸あたりのアルミ使用量も減少し、マイナスとなる見通し。(サッシ協会予測前年度比▲0.6%)

箔は、111千トン、前年度比+1.1%。(プラスに反転)

「食料品」はインバウンド需要の回復を期待するも、素材転換の更なる進展などによりマイナスの見通し。「電気機器」は、車載用リチウムイオン電池は自動車生産台数の回復によりプラスを見通すが、民生用やコンデンサはスマホの最大市場である中国をはじめグローバル経済が不透明なことから、前年並みに留まると予想。

以上

② 主要部門別補足説明

1. 板類

<食料品部門>

2022年度 (▲3.9%)	○缶材一 ▲4.2% ・ 家飲み需要の減少によりD I 缶はマイナス ・ 清涼飲料は、外出機会が増加したことからボトル缶が伸長。
2023年度 (+0.1%)	○缶材一 ±0% ・ D I 缶は昨年同様の傾向に加え、薄肉化の影響もあり微減。 ・ ボトル缶は清涼飲料が出荷増となる他、脱プラスチックによる採用増を期待。

注1) : 左欄の (%) は前年度比。以下同様

<金属製品部門>

2022年度 (▲7.4%)	○箔地一 ▲15.7% ・ 詳細は箔コメントをご参照ください。 ○その他の金属製品一 +22.5% ・ 経済活動の正常化に伴う印刷需要の増加、及び円安による国内材の採用増により、印刷版が大幅に増加した。
2023年度 (+1.3%)	○箔地一 +1.2% ・ 詳細は箔コメントをご参照ください。 ○その他の金属製品一 +1.6% ・ 印刷版は前年同様の傾向だが、増加幅は前年度より落ち着く傾向。

<電気機械部門>

2022年度 (▲7.8%)	○民生用一 +4.3% ・ 各自治体が実施したエコポイント制度が奏功し、省エネ家電への買い替え需要が発生。 ○その他電気一 ▲19.6% ・ デジタル機器、通信機器は2021年からのコロナ特需が終了し大幅減となった。
2023年度 (+3.3%)	○民生用一 +5.1% ・ 光熱費対策として省エネ家電の買い替え需要が引き続き発生。 ○その他電気一 +0.9% ・ パソコン、スマホは購入低下が懸念されるが、デジタル機器全般としてはGX, DXによる世界的なデジタル化の流れにより、一定程度の需要を見通す。

<輸送用機械部門>

2022年度 (▲8.5%)	○自動車材一 ▲8.6% ・ 半導体不足や部品調達難により四輪車生産台数が減少、自動車向けは大幅減少した。車体用のアルミパネルは新型車で採用があり、伸長。コロナ禍以降好調に推移していた二輪車は、需要も落ち着き前年比で微減を見込む。
2023年度 (+10.6%)	○自動車材一 +11.2% ・ 半導体不足が解消するにつれ、自動車生産台数も回復を見通す。中でもパネル材は今後のEV化による軽量化ニーズにより、大幅増を期待。

<その他>

2022年度 (▲7.6%)	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍以降、BCPの観点から在庫を厚く持つ風潮があり、実需以上の出荷が続いた結果、半導体製造装置向けの厚板出荷が夏場以降急激に減少した。
2023年度 (▲3.2%)	<ul style="list-style-type: none"> 半導体関連の需要はあるものの中間在庫が多く滞留しており、調整にはしばらく時間がかかると予想。

2. 押出類

<輸送用機械部門>

2022年度 (▲7.9%)	<ul style="list-style-type: none"> ○自動車材—▲7.7% 板同様、自動車生産台数の減少によりマイナス。トラックは一部メーカーの不正問題により減産期間が長引くも、足元では輸出向けを中心に回復基調が見られた。
2023年度 (+7.5%)	<ul style="list-style-type: none"> ○自動車材—+8.1% 板同様、半導体不足の解消にともない自動車生産台数は回復、トラック向けも生産制限がなくなり前年比増を見通す。

<建設部門>

2022年度 (▲3.6%)	<ul style="list-style-type: none"> 住宅着工戸数の減少に加え、国の施策によりアルミサッシからアルミ樹脂複合、樹脂サッシへの移行が進展。
2023年度 (▲1.5%)	<ul style="list-style-type: none"> 前年同様、住宅着工戸数が減少する他、トップランナー制度によるアルミサッシの採用減が進展する。

注:トップランナー制度:エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行令。
サッシはより断熱性能のすぐれた製品を生産、販売することが義務付けられている。

3. 箔

<食料品部門>

2022年度 (▲4.5%)	<ul style="list-style-type: none"> 機能性乳酸菌飲料がヒットし、飲料用はプラスとなるが、その他の食品向けはサプライチェーンの混乱や基材価格の高騰などが発生しマイナス。 末端商品価格の値上げが消費者の購買意欲を低下させ、嗜好品の買い控えが発生。 一部のレトルト食品は湯せんから電子レンジ対応のプラスチック容器に置換。
2023年度 (▲2.8%)	<ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人観光客の増加によるインバウンド需要を期待するも、物価高による買い控えや、包材の置き換えによる出荷減を見通す。

<化学部門>

2022年度 (+5.9%)	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染の処方薬や市販薬の出荷増、医薬メーカーの出荷前検査厳格化による作り直し等で、PTPの出荷が増加した。 化粧品は低調だった。
2023年度 (+1.0%)	<ul style="list-style-type: none"> PTPは医薬品の在庫積み増し需要も一服し前年比減。 化粧品は外出機会やインバウンド需要の増加により増加を見通す。

<日用品>

2022年度 (▲0.4%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ テイクアウト・宅配需要により容器が好調、家庭箔はシリコン加工ホイルがヒットするなど好材料はあったが、市場全体の値上げラッシュによる消費者の購買意欲低下から、コロナ前までの水準には戻らず。
2023年度 (▲1.4%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き様々な商品で値上げが予想されることから、消費行動が抑制される。テイクアウト・宅配もコロナの終息とともに需要減退を見通す。

<電気機器部門>

2022年度 (▲19.9%)	<p>○コンデンサー ▲14.8%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上期は企業の設備投資・太陽光関係中心に好調だったが、5月以降は材料メーカーの設備トラブル、中国ロックダウン影響によるコンデンサ製造工場の稼働停止、民生需要の減少・自動車減産などの影響を受け大幅にマイナス。 <p>○LIBー ▲22.8%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車載用は自動車生産台数の減少、民生用はコロナ特需の終了、スマホの最大市場である中国の景気悪化により出荷が減少。
2023年度 (+3.0%)	<p>○コンデンサー +1.2%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設備投資・環境蓄電関係を中心に若干回復を期待するも、中国をはじめ諸外国の経済、瀬政治情勢が不透明なことからほぼ前年並みを見通す。 <p>○LIBー +5.2%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 半導体不足、部品不足の影響は残るものの、自動車生産は徐々に回復、車載用リチウムイオン電池も下期に向けて回復を見通す。

以上

③ 主要部門別出荷数量

板類

2022/3/16

		2021	2022	2023	増減率	
		(実績)	(見込み)	(見通し)	22/21	23/22
食料品	缶材	400,956	384,098	384,000	▲ 4.2	▲ 0.0
	その他	12,759	13,277	13,600	4.1	2.4
	小計	413,715	397,375	397,600	▲ 3.9	0.1
化学		492	800	900	62.6	12.5
金属製品	はく用	126,663	106,740	108,000	▲ 15.7	1.2
	その他金属	35,262	43,212	43,900	22.5	1.6
	小計	161,925	149,952	151,900	▲ 7.4	1.3
電気機械	民生用	37,699	39,304	41,300	4.3	5.1
	その他電気	38,216	30,718	31,000	▲ 19.6	0.9
	小計	75,915	70,022	72,300	▲ 7.8	3.3
輸送用機械	自動車(乗用車)	102,920	100,658	114,400	▲ 2.2	13.7
	自動車(熱交換器)	12,378	10,573	11,300	▲ 14.6	6.9
	自動車(その他)	75,618	63,189	68,300	▲ 16.4	8.1
	自動車 計	190,916	174,420	194,000	▲ 8.6	11.2
	船・鉄道・航空 他	11,638	10,899	10,900	▲ 6.3	0.0
	小計	202,554	185,319	204,900	▲ 8.5	10.6
精密機械		388	193	200	▲ 50.3	3.6
一般機械		25,820	25,530	24,200	▲ 1.1	▲ 5.2
建設	サッシドア	4,447	4,651	4,600	4.6	▲ 1.1
	内外装 他	28,207	25,834	25,500	▲ 8.4	▲ 1.3
	小計	32,654	30,485	30,100	▲ 6.6	▲ 1.3
その他		82,042	75,847	73,400	▲ 7.6	▲ 3.2
国内出荷計		995,505	935,523	955,500	▲ 6.0	2.1
輸出		179,548	165,400	178,600	▲ 7.9	8.0
合計		1,175,053	1,100,923	1,134,100	▲ 6.3	3.0

押出類

2022/3/16

		2021	2022	2023	増減率	
		(実績)	(見込み)	(見通し)	22/21	23/22
食料品	缶材					
	その他	502	451	500	▲ 10.2	10.9
	小計	502	451	500	▲ 10.2	10.9
化学		378	410	400	8.5	▲ 2.4
金属製品	はく用					
	その他金属	17,187	16,364	16,600	▲ 4.8	1.4
	小計	17,187	16,364	16,600	▲ 4.8	1.4
電気機械	民生用	6,325	6,030	6,200	▲ 4.7	2.8
	その他電気	14,168	11,924	12,400	▲ 15.8	4.0
	小計	20,493	17,954	18,600	▲ 12.4	3.6
輸送用機械	自動車(乗用車)	63,394	59,108	65,100	▲ 6.8	10.1
	自動車(熱交換器)	29,711	26,494	28,700	▲ 10.8	8.3
	自動車(その他)	31,266	29,218	30,300	▲ 6.6	3.7
	自動車 計	124,371	114,820	124,100	▲ 7.7	8.1
	船・鉄道・航空 他	13,245	11,921	12,100	▲ 10.0	1.5
	小計	137,616	126,741	136,200	▲ 7.9	7.5
精密機械		10,272	8,717	8,500	▲ 15.1	▲ 2.5
一般機械		39,706	37,251	36,300	▲ 6.2	▲ 2.6
建設	サッシドア	282,261	270,136	265,500	▲ 4.3	▲ 1.7
	内外装 他	149,063	145,809	144,100	▲ 2.2	▲ 1.2
	小計	431,324	415,945	409,600	▲ 3.6	▲ 1.5
その他		54,370	45,994	44,500	▲ 15.4	▲ 3.2
国内出荷計		711,848	669,827	671,200	▲ 5.9	0.2
輸出		10,565	10,081	10,200	▲ 4.6	1.2
合計		722,413	679,908	681,400	▲ 5.9	0.2

圧延品計（板類＋押出類）

2022/3/16

		2021	2022	2023	増減率	
		(実績)	(見込み)	(見通し)	22/21	23/22
食料品	缶材	400,956	384,098	384,000	▲ 4.2	▲ 0.0
	その他	13,261	13,728	14,100	3.5	2.7
	小計	414,217	397,826	398,100	▲ 4.0	0.1
化学		870	1,210	1,300	39.1	7.4
金属製品	はく用	126,663	106,740	108,000	▲ 15.7	1.2
	その他金属	52,449	59,576	60,500	13.6	1.6
	小計	179,112	166,316	168,500	▲ 7.1	1.3
電気機械	民生用	44,024	45,334	47,500	3.0	4.8
	その他電気	52,384	42,642	43,400	▲ 18.6	1.8
	小計	96,408	87,976	90,900	▲ 8.7	3.3
輸送用機械	自動車(乗用車)	166,314	159,766	179,500	▲ 3.9	12.4
	自動車(熱交換器)	42,089	37,067	40,000	▲ 11.9	7.9
	自動車(その他)	106,884	92,407	98,600	▲ 13.5	6.7
	自動車 計	315,287	289,240	318,100	▲ 8.3	10.0
	船・鉄道・航空 他	24,883	22,820	23,000	▲ 8.3	0.8
	小計	340,170	312,060	341,100	▲ 8.3	9.3
精密機械		10,660	8,910	8,700	▲ 16.4	▲ 2.4
一般機械		65,526	62,781	60,500	▲ 4.2	▲ 3.6
建設	サッシドア	286,708	274,787	270,100	▲ 4.2	▲ 1.7
	内外装 他	177,270	171,643	169,600	▲ 3.2	▲ 1.2
	小計	463,978	446,430	439,700	▲ 3.8	▲ 1.5
その他		136,412	121,841	117,900	▲ 10.7	▲ 3.2
国内出荷計		1,707,353	1,605,350	1,626,700	▲ 6.0	1.3
輸出		190,113	175,481	188,800	▲ 7.7	7.6
合計		1,897,466	1,780,831	1,815,500	▲ 6.1	1.9

箔

2022/3/16

	2021	2022	2023	増減率		
	(実績)	(見込み)	(見通し)	22/21	23/22	
食料品	24,240	23,147	22,500	▲ 4.5	▲ 2.8	
たばこ	482	459	450	▲ 4.8	▲ 2.0	
化学	9,446	10,001	10,100	5.9	1.0	
日用品	家庭箔	1,162	1,123	1,110	▲ 3.4	▲ 1.2
	その他	1,485	1,513	1,490	1.9	▲ 1.5
	小計	2,647	2,636	2,600	▲ 0.4	▲ 1.4
その他金属	739	775	800	4.9	3.2	
電気機器	コンデンサ	28,592	24,347	24,650	▲ 14.8	1.2
	LIB	39,419	30,431	32,000	▲ 22.8	5.2
	その他電気	5,064	3,754	3,650	▲ 25.9	▲ 2.8
	小計	73,075	58,532	60,300	▲ 19.9	3.0
機械器具	622	576	600	▲ 7.4	4.2	
建設	2,148	1,868	1,850	▲ 13.0	▲ 1.0	
その他	23	65	50	182.6	▲ 23.1	
国内出荷計	113,422	98,059	99,250	▲ 13.5	1.2	
輸出	12,013	11,251	11,300	▲ 6.3	0.4	
合計	125,435	109,310	110,550	▲ 12.9	1.1	

策定数値については、アルミ圧延業の活動実績を全般的に把握・周知するために、会員企業から収集した情報を客観的に統計処理して概括的に公表しているものであり、会員企業の現在または将来の事業活動における重要な競争手段に具体的に関係する情報について、会員企業との間で収集・提供を行い、相互間での予測を可能にするようなものではありません